

医師向け研修カリキュラム検討状況について

1 検討スケジュールについて

日程	検討内容
8月26日 第1回分科会	○ 暮らしの場における看取りについて課題抽出
10月13日 第2回分科会	○ 研修カリキュラムの内容について ○ 研修テキスト担当者について ○ 研修テキスト作成形式について
次回 12月中旬 第3回分科会	(予定) ○ 研修テキスト案について
翌年1月頃 第4回分科会	(予定) ○ 研修テキストの最終確認

2 医師向け研修カリキュラム骨子(案)について

【目 標】 都民が住み慣れた地域で安心して暮らし、希望に沿った最期を迎えることができるよう、看取りの必要性について理解するとともに、看取りを実践するために必要な専門的な知識や技術を学ぶ。

【人 数】 200名(100名×2回)

【形 式】 講義及びグループワーク

【対 象】 医師(都内診療所及び施設)

【プログラム】

大項目(テーマ)		研修形式
イントロダクション	看取りに関する東京都の現状について	講義中心 ※コマの中に簡単なグループワークを含む場合 合有
	医師として在宅看取りをどう考えるか …在宅医(かかりつけ医)の立場から	
	在宅看取りをする医師に何を求めるか …訪問看護師の立場から	
意思決定支援	○ 厚生労働省が平成19年5月に策定(平成27年3月に改訂)した「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」における方針決定の流れを基に、意思決定支援に関する講義テーマを設定。 ○ 講義内容(案) ・ 患者本人や家族との合意形成について ・ 多職種での関係(チーム)形成について ・ エンド・オブ・ライフケア、アドバンス・ケア・プランニング ・ インフォームドコンセント、共同意思決定(Shared Decision Making) ・ コミュニケーションスキル、情報提供(病状説明、予後予測、予後告知) など	グループワーク (・ロールプレイ)
	法律等について	講義
在宅看取りの総論		